

## 「教員のための英語リフレッシュ講座」

日程：平成26年8月4日(月)、5日(火)、6日(水)、7日(木)、8日(金)

会場：大阪大学大学院言語文化研究科他(豊中キャンパス)

オーラルコミュニケーション偏向の授業になって久しくなりますが、中学、高校の(リスニング以外の)英語力は確実に低下しつつあります。また、教員の態勢が整わない段階での小学校英語の導入と低学年化の方針や「授業は英語で」という新学習指導要領の方針が高校で実施され検証もないまま中学での実施も予定される中、教育現場では戸惑いと混乱が広がっています。

本講座では、(理論的な根拠もなく英語教育の失敗の元凶とされた)「文法と訳読」が外国語学習環境での英語力の基盤育成に不可欠であるとの認識の下に、教室でも応用可能な現代の文法・語法・辞書研究の成果を紹介するほか、関連研究領域(言語習得論や学習動機・方略研究、脳機能研究など)の最近の理論的な知見を踏まえ、英語力を着実に伸ばし運用能力の育成にもつながる授業のあり方を(ネットやCALLの活用を含め)総合的に考察するだけでなく、小学校英語にいかに対応するかについても検討します。教員それぞれの造詣・技量を適切に活かし、生徒も理解・納得できる魅力的で効果的な教育の実践を期するものです。また「発音の動的な変化の仕組み」「リズムとイントネーション」「音読の技法」を分かりやすく解説・訓練するとともに、少人数グループの「ネイティブスピーカーによる体験授業」を通じて英語運用力の向上を図るほか、文学作品の意味・語用・文体論的分析も行ない、授業にも生かす知見を深めます。全体討論では、近年の英語教育行政の諸問題について討議し、日本の英語教育のあるべき姿を現実的に考えてみたいと思います。

## 講師および演題

## 8月4日(月)

10:00～10:20 オリエンテーション (英語リフレッシュ講座企画WG)  
 10:20～12:00 「日本人に相応しい英語教育－英語で授業ができるのか？」 成田一名誉教授  
 13:00～14:30 「英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀」 成田一名誉教授  
 14:40～16:10 「協同学習で英語授業をリフレッシュ」 (和歌山大学) 江利川春雄教授

## 8月5日(火)

10:00～12:00 「国際英語の教育実践－非母語話者モデルの英語教育」 日野信行教授  
 ＊13:00～14:30 「英文を読む楽しみ」 沖田知子教授  
 ＊13:00～14:30 「学習者動機とプロジェクト型授業－小学生の事例を中心に」 西田理恵子講師  
 ＊14:40～16:10 「英語力を評価するために知っておきたいこと」 今尾康裕講師  
 ＊14:40～16:10 「効果的な辞書指導と語彙指導のあり方－コーパス言語学の視点から」 (京都外国語大学) 赤野一郎教授

## 8月6日(水)

＊10:30～12:00 「現代英語の実態を見る目と文法意識－乖離はないか」 (関西外国語大学) 八木克正特任教授  
 ＊10:30～12:00 「教師の相互行為能力を探る－実際の英語授業の会話分析から」 岡田悠佑講師  
 ＊13:00～14:30 「教室で役立つ英語史」 尾崎久男准教授  
 ＊13:00～14:30 「英詩の世界を味わう」 小口一郎准教授  
 ＊14:40～16:10 「アジアとEUの英語教育に学ぶ」 (京都光華女子大学) 河原俊昭教授  
 ＊14:40～16:10 「認知的視点から見た英文法」 早瀬尚子准教授

## 8月7日(木)

＊10:30～12:00 「生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法」 (京都外国語大学) 鈴木寿一教授  
 ＊10:30～12:00 「英語力の流暢性を高めるシャドーイング」 (関西学院大学) 門田修平教授  
 ＊13:00～14:30 「小学校英語活動をどう中学英語につなぐか」 (私立小学校英語科・公立小学校英語活動アドバイザー) 田縁真弓先生  
 ＊13:00～14:30 「より自然な英語発音とスピーキング力養成のために」 (同志社大学) 森庸子囁託講師  
 ＊14:40～17:10 「コミュニケーション基礎」 デール・ブラウン特任准教授、デーヴィッド・マレー講師  
 ＊14:40～17:10 「コミュニケーション中級」 スティーヴ・フランシオン特任准教授、スティーヴ・ミュラー講師  
 ＊14:40～17:10 「コミュニケーション上級」 ジェリー・ヨコタ教授、アンドリュー・村上スミス准教授

## 8月8日(金)

10:30～12:00 「ESPによる英語運用力の底上げ」 (神戸女学院大学) 川越栄子教授  
 13:00～14:50 「言語習得の脳科学」 (特別講演) (首都大学東京) 萩原裕子教授  
 15:00～16:40 全体討論「激動する英語教育行政を理論的に検証する」 講師陣  
 16:45～17:00 講座修了証書授与式 大学院言語文化研究科長 我田広之教授  
 17:15～19:00 懇親会

- 同時帯に開講の＊印付きの講義は選択です。申し込み用紙に、それぞれの時間帯で選択する講義に○を付けて下さい。「コミュニケーション」は「基礎・中級・上級」が選択ですが、定員を超えた場合、当日昼に調整させていただきます。ご了承下さい。
- 会場では4日(月)に本講座の講師陣が執筆の『英語リフレッシュ講座』(大阪大学出版会)を著者割引1,900円で頒布いたします。

**定員** 定員80名(先着順：定員に達した時点で大阪大学大学院言語文化研究科HPに掲載します。)

本講座は、社会と大学を直接的に結び、大学の基礎・応用研究を学校の現場で活かしていただくことを主眼としており、中学校、高校、小学校などで英語教育に携わっている方ならびに携わることを目指している方を対象にしています。それ以外の方は定員に余裕がある場合に限り、受講可とさせていただきますので、本研究科HPでご確認ください。

**講習料** 10,500円

**参加申込み(受付期間 7月2日(水)～7月17日(木) 期限厳守)**

①**E-mail**(アドレス:genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp)または下欄の「受講申込書」に、氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、職業、勤務先名、選択講義をご記入のうえお申し込みください。

なお、「受講申込書」で申し込まれる方は、下記宛先まで**郵送**または**ファックス**でご送付願います。

宛先：〒560-0043 豊中市待兼山町1-8

大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係

FAX：06-6850-5865

②受講の可否を申込み受付後、E-mailにて通知いたします。お申し込み後、1週間以内にこちらから通知が届かないようでしたら、一度お問い合わせください。

③E-mailによる受講許可通知に記載の方法にて、指定振込銀行口座へ受講者氏名でお振り込み(手数料はご本人負担)願います。

・お振り込みいただきました講習料は、欠席された場合でも返金できませんので、ご了承ください。

**会場** 大阪大学大学院言語文化研究科他(所在地 豊中市待兼山町1-8)

豊中キャンパスマップ <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka/toyonaka.html>

電車によるアクセス 阪急電車宝塚線 石橋駅(特急・急行停車)下車 東へ徒歩約15分

モノレールによるアクセス 大阪モノレール 柴原駅下車 西へ徒歩約15分

アクセスマップ <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/accessmap.html>

## 懇親会

修了証書授与式後、講師陣と受講者とが親しく意見交換する場です。奮ってご参加ください。

(参加費2,000円：お振り込みされずに、初日に会場受付でお支払いください。)

**問い合わせ：大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係**  
(E-mail: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-5855)

**主催：大阪大学大学院言語文化研究科** <http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/>

**後援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会**

- ・全講義(時間帯)の60%以上に出席された受講者の方には講座修了証書を授与いたします。それ未満の方には受講証明書を後日送付いたします。
- ・お申し込みの際に必要なみなさまの情報は、連絡先の把握及び今後の公開講座運営上の統計資料作成、関連情報の提供以外には使用いたしません。

平成26年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

## 「教員のための英語リフレッシュ講座」受講申込書(記載漏れがある場合には受講できません)

(フリガナ)	氏名	年齢	歳
	(〒 - )		
	住所	日中連絡可能なお電話番号： ( )	
	E-mail(必須)	@	
	職業(必須)	学校名	懇親会 参加する・参加しない
		TEL： ( )	
8月5日(火) 13:00～14:30	( ) 「英文を読む楽しみ」 ( ) 「学習者動機とプロジェクト型授業－小学生の事例を中心に」		それぞれの時間帯で選択する講義の( )に○を記入
8月5日(火) 14:40～16:10	( ) 「英語力を評価するために知っておきたいこと」 ( ) 「効果的な辞書指導と語彙指導のあり方－コーパス言語学の視点から」		
8月6日(水) 10:30～12:00	( ) 「現代英語の実態を見る目と文法意識－乖離はないか」 ( ) 「教師の相互行為能力を探る－実際の英語授業の会話分析から」		
8月6日(水) 13:00～14:30	( ) 「教室で役立つ英語史」 ( ) 「英詩の世界を味わう」		
8月6日(水) 14:40～16:10	( ) 「アジアとEUの英語教育に学ぶ」 ( ) 「認知的視点から見た英文法」		
8月7日(木) 10:30～12:00	( ) 「生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法」 ( ) 「英語力の流暢性を高めるシャドーイング」		
8月7日(木) 13:00～14:30	( ) 「小学校英語活動をどう中学英語につなぐか」 ( ) 「より自然な英語発音とスピーキング力養成のために」		
8月7日(木) 14:40～17:10	「コミュニケーション」 ( ) 「基礎」 / ( ) 「中級」 / ( ) 「上級」		



# 講師プロフィール & 講義内容



## 日本人に相応しい英語教育－英語で授業ができるのか？

### 英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀

成田 一

大阪大学名誉教授 英日対照構造論・機械翻訳・言語教育/習得論専攻

著書『日本人に相応しい英語教育』（松柏社）他、編著『英語リフレッシュ講座』（大阪大学出版会）他、英語教育総合学会会長。  
講義内容：日本の英語教育のあり方を言語理論的に追求し運用自動化の方策を探るとともに、生徒の学習意欲を高め運用能力の育成に繋がる総合的訳読教育を提案。「英語で授業」「入試/卒業資格へのTOEFL導入」のほか「小学校英語」、「社内英語化」の問題点も追究する。  
講義内容：発声の生理のMRI画像、音読時の脳活動画像なども示しつつ、「ダイナミックな発音変容の仕組み」の理解を踏まえて、発音・聴解の解説と訓練を行うとともに、「発音教育においては何を教えるべきか」を理論的かつ実践的に論じる。



## 協同学習で英語授業をリフレッシュ

江利川春雄

和歌山大学教育学部教授 英語科教育学・英語教育史専攻

英語政策史を踏まえ、英語教育のあり方を提言。近著に『協同学習を取り入れた英語授業のすすめ』、『英語教育、迫り来る破綻』など。  
講義内容：仲間と関わり学び合うことで学習意欲と人間関係力を向上させ、自律学習者を育てる協同学習。その基本原理と実践での留意点を、授業事例とワークショップを交えながら紹介する。英語授業をリフレッシュし、学びの質を高めたい人にお勧めです。



## 国際英語の教育実践－非母語話者モデルの英語教育

日野信行

言語文化教育論講座教授 「国際英語」教育専攻

International Association for World Englishes理事。共著書に*Principles and Practices of Teaching English as an International Language* (Multilingual Matters), *English as an International Language in Asia* (Springer)など。  
講義内容：母語話者の規範を相対化する「国際英語」の理念に基づく英語教育のあり方を論じる。国際英語のコミュニケーションを現実の状況において体験する学習方法等について考えたい。



## 英文を読む楽しみ

沖田知子

言語コミュニケーション論講座教授 ことば学専攻

意味論・語用論・文体論から広くことば遊びも含め、ことばの選択・使用・効果そして解釈を考える「ことば学」を研究。  
講義内容：ことばの選択や文脈等も含め、使い手が「なぜこのような言い方をし、どのようなことを伝えようとしているのか」を意識して立体的にこころを読み解くことから、読み手としての「英文楽」を味わいたい。今回は、慣用的表現に潜む落とし穴をとりあげる予定。



## 学習者動機とプロジェクト型授業－小学生の事例を中心に

西田理恵子

言語文化教育論講座講師 応用言語学専攻

第二言語習得時における動機付けや情意要因を研究。著書に*Empirical studies of affective variables and motivational changes among Japanese elementary school EFL learners*(金星堂)他。  
講義内容：第二言語習得時における動機付けの先行研究を概観し、プロジェクト型授業に関する実証研究と教育実践の報告を行う。主に小学校の事例を中心に発表を行い、「クラス絵本」プロジェクトを実施する。



## 英語力を評価するために知っておきたいこと

今尾康裕

言語文化教育論講座講師 応用言語学(言語テスト)専攻

学習者コーパスからの知見をライティングテストに生かす方法を研究。Mac用のコーパス分析ツール、文字起こしツール等を開発。  
講義内容：学校において評価すべき生徒の英語能力とは何なのか、英語のテスト作成時に何を基にして、どのような点を考慮する必要があるのか、また、それらは一般の英語テストと何が違うのか、などについて考える。



## 効果的な辞書指導と語彙指導のあり方－コーパス言語学の視点から

赤野一郎

京都外国語大学教授 英語辞書学・コーパス言語学専攻

コーパスに基づく語彙研究と辞書編纂に従事。『ウィズダム英和辞典』（三省堂）、『英語教師のためのコーパス活用ガイド』（大修館）。  
講義内容：最近の英語辞書はコーパスに基づき編纂されている。その特徴の1つはコーパスデータから得られた豊富なコロケーション情報の提供である。本講座ではコーパスについて概説した後、コロケーションをキーワードに、表現力向上を目指した効果的な辞書指導と語彙指導のあり方を考える。



## 現代英語の実態を見る目と文法意識－乖離はないか

八木克正

関西外国語大学特任教授 英語学専攻

著書：『英語の疑問 新解決法』（三省堂）、『英語教育に役立つ英語の基礎知識Q & A』（開拓社）、『英語定型表現の研究』（開拓社）。  
講義内容：言語は常に変化している。もちろん英語もしかり。変化する英語の実態をどのように把握するのか。「文法意識」で英語の実態を見る目を曇らされていないだろうか。文法が言語使用を規定するのではない。言語事実の中から文法が見つけ出されることを具体的な問題から考えてみよう。



## 教師の相互行為能力を探る－実際の英語授業の会話分析から

岡田悠佑

言語文化教育論講座講師 会話分析・応用言語学専攻

博士(学術)。会話分析による英語教育研究を実践。著書に*Assessing second language pragmatics*(分担執筆)(Palgrave Macmillan)等。  
講義内容：参加者間の相互行為として成り立つ英語授業の中で、どのような(相互)行為のやり方を教師は授業を効率的・効果的に行うために用いることができるだろうか。本講義では実際の英語授業の音声・ビデオデータを詳細に「見る」ことで英語授業における教師の相互行為能力を議論する。



## 教室で役立つ英語史

尾崎久男

言語文化比較交流論講座准教授 中世ゲルマン語学専攻

博士(英語学)。日本中世英語英文学会評議員。印欧語全般(特にゲルマン語)を対象として、言語間の相互影響を調査・研究している。  
講義内容：英語史に関する知識があつて初めて、現代英語の正確な姿が見えてきます。例えば、I like apples.を「リンゴが好きだ」と訳すと、どうして自然に感じられるのか、英語史の観点から注目してみたい。



## 英詩の世界を味わう

小口一郎

言語文化教育論講座准教授 イギリス・ロマン主義の詩学と18世紀思想専攻

イギリス・ロマン主義の文学と文学論を思想的コンテクストから解釈。著書に『揺るぎなき信念－イギリス・ロマン主義論集』（彩流社）等。  
講義内容：英詩の中でもっとも愛され、奥行き深い文学的世界をもつ作品、William Wordsworthの「ルーシー詩編」を味読する。



## アジアとEUの英語教育に学ぶ

河原俊昭

京都光華女子大学教授 言語政策・アジア英語・英語教育専攻

世界各地の言語教育の実態を研究。編著書に『世界の言語政策』（くろしお）、『アジア・オセアニアの英語』（めこん）等。  
講義内容：アジアやEUをはじめとして、世界には多言語国家が多い。そこでは、多言語社会を前提に言語教育が行われてきた。日本の言語政策に関して、アジアやEUの英語教育を参考にして、そこから何が学べるか考えてみたい。



## 認知的視点から見た英文法

早瀬尚子

言語認知科学講座准教授 認知言語学・構文論専攻

英語構文と意味、主観性、視点を研究。著書に『英語構文のカテゴリー形成』（勁草書房）、『認知文法の新展開』（研究社）等。  
講義内容：「言語形式は我々の捉え方を反映する」という認知言語学の考え方を基に、前置詞や動詞の多義、構文の書き換えに伴う意味の違い、日英発想法と英作文パターン等を扱う。



## 生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法

鈴木寿一

京都外国語大学教授 英語教育学(指導法研究)専攻

4技能、文法、語彙指導法研究と授業自己診断テスト開発。『英語音読指導ハンドブック』（大修館書店）、検定教科書*New Stream*ほか。  
講義内容：音読は英語力を伸ばすために不可欠だが、不適切な指導が行われていることが多い。講義では、問題のある音読指導を取り上げて効果的な音読指導を行うための留意点を確認後、効果的な音読指導法を紹介する。



## 英語力の流暢性を高めるシャドーイング

門田修平

関西学院大学教授 応用言語学、心理言語学専攻

英語がいかにか知覚、処理、記憶、学習されるか、そのメカニズムを研究。著書『シャドーイング・音読と英語習得の科学』（コスモピア）他  
講義内容：耳でとらえた音声を、実際に声に出して発音するシャドーイングの練習が、なゼリスニング、スピーキングを含めた英語力の流暢性の促進効果があるのか、またどのような学習方法がよいかについて、これまでの研究成果にもとづいてお話しします。



## 小学校英語活動をどう中学英語につなぐか

田縁眞弓

私立小学校英語科・公立小学校英語活動アドバイザー 早期英語教育専攻

私立小中高一貫英語科アドバイザー。立命館大学・京都教育大学講師。公立小学校英語活動アドバイザー。小学生向け英語テキスト著者。  
講義内容：小学校で英語を学んだ生徒の特長と、その強みを生かすには中学校でどういった指導を行うべきかを「目指す英語力の連携」を視点にいれ考える。コミュニケーション英語活動を支える「読みの力」の導入法を具体例とともに紹介する。



## より自然な英語発音とスピーキング力養成のために

森 庸子

同志社大学嘱託講師・嘱託研究員 日英対照音声学専攻

日本人の英語と母語話者の英語の音声的相違を実証的に研究し、どのようにすれば、日本人の英語はより自然に聞こえるかを検証。  
講義内容：日本人英語のリズムやイントネーションの特徴と、その改善策を紹介する。また発音練習のために構築した無料サイトを紹介し、シャドーイング・ストーリーテリングなどのスピーキング演習の効果も報告する。

## コミュニケーション



### 基礎 ①A framework for vocabulary teaching Dale Brown

In this course we will consider what it means to 'know' a word. A rich approach to vocabulary teaching will be introduced, and participants will have the opportunity to try a variety of vocabulary activities that they can easily apply in their own classrooms.



### 基礎 ②Encouraging creativity and originality to enhance fluency Dave Murray

The theme for this lecture is that of encouraging creativity and originality and using these characteristics as a means to enhancing fluency and speaking proficiency skills in both traditional and technology-based language lessons.



### 中級 ①Using Computer Games in a Communication Class Steve Franciosi

Play, games and learning are closely connected. Since many students are interested in video games, we will find out how to use them for English Communication.



### 中級 ②The methods and techniques of utilizing Drama and Role Play in second language acquisition Steve Muller

Drama and Role Play allow students to practice the target language (English) in authentic situations and give them confidence to use English in real situations outside the classroom. This workshop also includes actor training techniques that can enhance your own teaching skills.



### 上級 ①Networking with Professional Peers Gerry Yokota

In this session, participants will have the opportunity to exchange ideas and opinions with their peers about current real-life situations happening at schools all around Kansai and beyond. Come prepared to share problems and find solutions.



### 上級 ②Using Computer Technology in English Writing Instruction Andy Murakami-Smith

The Internet can be both a great help and a hindrance for students learning English academic writing. In this course, we will investigate the possibilities for using the Internet and computer technology in English writing instruction.



## ESPによる英語運用力の底上げ

川越栄子

神戸女学院大学教授 英語教育学(ESP)専攻

著書に『Travelers' First Aid Kit』（センゲージャーニング）、『実践的時事英語医療版－ザ・デイリーヨミウリを読む』（大学教育出版）等。  
講義内容：ESP(特定目的の英語)教育が英語教育の流れを大きく変えている。将来の職業に必要な英語や特に関心を持つ分野の英語を教えることで、英語学習への興味とモチベーションを高め、英語力を伸ばすことができる。



## 言語習得の脳科学

萩原裕子

首都大学東京大学院人文科学研究科教授 言語脳科学・心理言語学・神経言語学

人間がことばを習得する仕組みを脳の発達との関連で研究。著書に『脳にいどむ言語学』（岩波科学ライブラリー）他。  
講義内容：近年の神経画像学の成果をもとに脳の発達について概説し、学齢期・思春期の母語、外国語(英語)の習得過程を、音、単語、文法処理の脳機能研究のデータを紹介しながら解説する。科学的な根拠にもとづいたより効果的な教育法とは何かについて検討する。